



5	2017	10	15～ 16	パルプ置き場でパレットに乗っていたパルプ4段×2列をまとめていた番線を切った時、パルプがパレットよりはみ出ていたため、傾いてパルプ3個に押されて倒れパルプの下敷きになり受傷した。	20	5	611	100 ～ 299
6	2017	10	15～ 16	被災者は工場カラー調成荷下ろし場にて、セーフティブロックに安全帯を装着してトラック荷台上のフレコンに乗り、階上上げのため玉掛け作業を開始した。その後、被災者がトラック荷台のフレコン上を移動した際、セーフティブロックが親綱の端部留め金具に引っ掛かり、伸縮ロープが伸びきった状態となり、その反動で被災者は後ろ側に引っ張られ、高さ約2.5メートルから地面に転落した。	47	1	221	100 ～ 299
7	2017	10	9～ 10	当日、朝番勤務で抄紙機洗浄作業を実施していた。マシン内のアルカリ循環洗浄が終わり、マシンを停止させ、各所の洗浄作業で、ピット内を洗浄中、ドレン溝を高圧ガンにて、洗浄した際に、飛散した汚水が足にかかり受傷した。顔面にも飛散し受傷した。（水溶性苛性ソーダ48%）洗浄中濃度0.75%程度、洗浄終了排水時0.35%程度に希釈し排水させる。	26	12	514	100 ～ 299
8	2017	9	13～ 14	北倉庫2階のロール置き場で、ロールの片づけをしている時に、ロール横のベアリングの上に乗った時、ベアリングの歯止めをしていなかった為、足を滑らせて後ろに腰から落ちて負傷した。	60	2	163	30 ～ 49
9	2017	9	23～ 24	ロールとロールの間に紙を通す際、左手が巻きこまれ中指及び薬指を負傷、骨折する。	35	7	163	50 ～ 99
10	2017	9	23～ 24	N1マシンリール前で枠替え作業を実施違反を取り卸しフックに移動するため、クレーンを操作し原反を荷揚げした。原反を取り卸しフックに掛けようとしたところ、駆動側のシャフトがストッパーを越えてしまい原反が左右に回転した。振れを抑えよ	38	7	211	100 ～

				うと咄嗟にシャフトの取っ手に手を出し、リールフレーム部とシャフトの間に指を挟み被災した。				299
11	2017	9	9 ~ 10	加工2号機のワインダードラムロール部において、被災者は、ロールへの紙粉付着に気付き、ワインダー作業を一時停止させロール清掃を開始した。操作リモコンにより寸動を繰り返し清掃を行っていたが、ドラムロールが完全に停止する前に手を出し、製品巻き取りとドラムロールの間に右手人差し指を挟まれ被災した。加工途中でのロール清掃作業は、手順として認められておらず、危険作業に対する認識が欠如していた。	33	7	163	100 ~ 299
12	2017	8	19 ~ 20	休憩室にて空の牛乳ビンを回収箱へ戻そうと通行中、下に置いていたスノコに躓き転倒した。その際、コンクリートの床に右膝を強打し負傷した。	40	2	417	10 ~ 29
13	2017	8	15 ~ 16	巻き取り解体作業場において、フォークリフト運転手Aと補助作業員Bが翌日の巻き取り解体作業の準備の為に巻き取りブロックをフォークリフトを使って中央列から後方へ移動中に（後へバックし、左端へ持って行く途中）止め木がはずれ、フォークリフトから巻き取りブロックがころがり落ちた。その際に前方左端に待機していたBに当たり、巻き取りブロックと安全ガードの間にはさまれ被災したとみられる。	66	3	611	30 ~ 49
14	2017	8	19 ~ 20	被災者は新聞用紙を紙管に巻きとらせる作業に併せて別の作業を行っていた。巻き取り作業中、設備のフレーム部分に左足をかけたまま振り返り、右回りに旋回して移動しようとした際、フレームとアンカーボルトの隙間に左足が嵌り体勢を崩した。その際、左足首に無理な力がかかり被災した。	26	19	417	50 ~ 99
				ワインダーコアー自動供給装置にて、コアー台車のセット不良アラームが発生したので台車セット用リミットスイッチに不具合があると考え、一旦パネル操作にて台車保存装置を開放と				100

15	2017	8	6~7	し、すぐに固定側へスイッチを着替えたのちリミットスイッチの作動を確認（台車保持装置開放とした事で台車が固定ブラケットより100m/m程離れた）この時リミットスイッチがONとなり保持装置が作動、離れていた台車が引き寄せられ、台車と固定ブラケットの間に右手中指が挟まれ被災した。	42	7	169	~ 299
16	2017	7	10~11	トイレットペーパーの製造工程において、原紙（ジャンボロール）のコアプラグ（約20kg）を外す際、自分が予想していた以上にコアプラグが重く、その重さに耐えきれず地面に置いた際、指を挟み負傷した。	27	7	163	100 ~ 299
17	2017	7	14~15	プリントスロッタ（段ボールシートに印刷・折り線・切り込みの加工をする機械）での作業中、スタッカー（プリントスロッタ加工後のシートを積み上げていくためのベルトコンベアーの機械）にまたがり作業をしていた。スタッカーの裏側の配線にろう電があり、スタッカーの機械を通じて足側から感電したものである。	48	13	224	1~ 9
18	2017	7	14~15	プリントスロッタ（段ボールシートに印刷・折り線切り込みの加工をする機械）での作業中スタッカー（プリントスロッタ加工後のシートを積み上げていくためのベルトコンベアーの機械）にまたがり作業をしていた。スタッカーの裏側の配線にろう電がありスタッカーの機械を通じて足側から感電したものである。	48	13	224	1~ 9
19	2017	7	17~18	構内にて、4tトラック（ウイング車）を停車し、荷降ろしのため同トラックより降りる際、慌てて飛び降りたため、誤って右足小指を骨折負傷した。	52	3	221	10 ~ 29
				組長と一般職の2名作業でアンモニア水タンクの液面計管付き弁の閉止作業に着手（液面計異常点検のための準備作業）一般職がレンチにて弁の閉止作業をした直後に弁本体がフランジ部から脱落し、噴出したアンモニア水（濃度25%）が2名にかかっ				500

20	2017	7	9~10	た。一般職は防液堤外に脱出したが、組長が気化したアンモニアを吸引。意識を失い防液堤内に仰向けに倒れこんだと推定。連絡を受けて救助に向かった課長が、空気呼吸器を装置の上、防液堤内から組長を救出し、救急車にて搬送。	41	12	514	~ 999
21	2017	5	16~ 17	電気の配線作業中に、高さ180cm程のトタン製の壁に登ろうと、壁の中間にある鉄骨部分に足をかけたところ滑り、その拍子にトタン上部で手首を切ってしまった。	35	8	418	10 ~ 29
22	2017	5	15~ 16	工場内で紙の抄造作業中、抄紙機で巻き取りロールに紙を送る際の姿勢が不安定であったため、ドラムと巻き取りロールの端で指を挟んでしまった。	67	7	163	10 ~ 29
23	2017	4	11~ 12	当社工場内で、断裁機で断裁後の紙の束（85cm×64cm厚さ約5cm重量約12kg）を手で持ち上げて作業台Aから1m程離れた作業台Bに移動させようとした際、作業台Aの端に足を引っかけてしまい転倒し、腰を強く打った。	63	2	419	10 ~ 29
24	2017	4	18~ 19	作業終了後に2Fで手洗い等をして階段から1Fに下りた時、残り3段のところで足を滑らせて転落した。	39	1	413	300 ~ 499
25	2017	3	8~9	仕上室で台車（カッターカゴ）にある平板損紙の仕込作業を行っていたが、その日は損紙の入った台車が沢山あったので3人で作業を行っていた。ドンと大きな音がしたので共同作業者が振り返ると、倒れこんでいる被災者を発見した。脳しんとうを起こしており、救急搬送された。状況としては損紙を両手に抱えパルパーへ投入していたが、損紙で足が滑り転倒し、身体をパルパーの側面に強打し、首をひねったものである。	67	2	416	50 ~ 99
26	2017	3	0~1	レワインダー芯棒供給装置で、芯棒台車から中継テーブル間の搬送アームから芯棒が脱落したため芯棒供給装置内に入り、手で修正しようとした。その際に中継台車が動き、フレームと中	49	7	169	500 ~ 999

				継台車の間に挟まれた。				
27	2017	2	11~12	抄紙機3号マシンカレンダーパートにて、結露防止対策の為にカレンダーセカンドロールに紙を巻き付ける作業を、ロールの昇降係と昇降指示をしながら紙を巻きつける係の2名1組で行っていた。紙を巻きつけるにあたりセカンドロールを降下する際に、セカンドロールが駆動しているボトムロールに接触し回転してしまった為に、左手がセカンドロールとサードロールの間に挟まり受傷した。	33	7	163	50 ~ 99
28	2017	1	21~ 22	両番勤務のため、第一駐車場に到着し、徒歩で職場に向かった。DWPシート運搬作業中のパトライトが点灯していたので、道路脇の決められた歩行者通路を通行した。この時、通路上にパルプ原料が約30mm程堆積していたので、注意しながら歩行していたが、パルプ原料で右足が滑り、右足首を捻った。	32	19	417	100 ~ 299
29	2017	1	7~8	本社工場2F西側にある抄紙部門にて、朝、マシン停止後に同僚がルーシブロアのVベルトに亀裂を発見し、被災者と2人で交換作業をはじめた。本来はベルト交換の際にはテンションを緩めて行うという作業手順であるが、それを守らず張った状態で作業を行ってしまった。その為、1本目を掛け、2本目を入れる為に同僚が注意を促しながら1本目のベルトを押しした際、被災者がベルトの内側を掴んで引っ張ったため、勢いでプーリーとベルトの間に左手小指を挟んでしまった。	41	7	169	30 ~ 49
30	2017	1	10~ 11	当社工場内において、抄紙されたジャンボロールをリワインダー機にセットする際、手元が滑り、誤って左中指をリワインダー機の繰り出しローラーの間で挟み負傷した。	61	7	163	10 ~ 29
31	2016	12	18~ 19	ホイストクレーンを1人で操作中に、荷からフックを外す際に、フックを外したつもりだったが完全には外れていなかった。その状態でクレーンを巻き上げた為に引っ掛かっていたフックが外れてはね上がり、被災者の顔面に当たった。	44	6	372	50 ~ 99

32	2016	12	12～ 13	作業場近くにあるスポットクーラーの上に置いてあった器具が落ちかけたので、それを取ろうと身をかがめた際に体勢が崩れ、以後、左腕、左手指、両足のヒザから下にしびれ、痛みが出るようになった。	51	19	921	100 ～ 299
33	2016	12	9～ 10	トイレットペーパーの原紙製造工程において、抄紙機のステージ上に損紙があり、ステージ端の位置が分からず、足を踏みはずしてステージ下に落下。その際に左手を負傷した。	57	1	417	100 ～ 299
34	2016	12	12～ 13	倉庫の扉を修復しようと梯子を掛け、3mの高さでバールを使い、扉と外枠を調整中に扉が前方に移動したため飛び降りた。この際に、両足踵骨を骨折した。	47	1	371	100 ～ 299
35	2016	11	6～7	準備作業にて階段を下りていたとき、階段ステップが水に濡れ滑り易い状態であったので、足を滑らせ転倒した。この際に咄嗟に右手で受け身行動をとり、手の裏を階段に当てた事で受傷した。	42	1	413	100 ～ 299
36	2016	11	4～5	事業所の沙紙機で断紙が発生したため、リールパートの点検を行っていた。点検の結果、セカンダリーアームとレールが接触していることがわかり、接触状況の確認に向かって間もなく、アームとレールの接触が外れ、勢いよく動いたアームと激突し負傷した。	53	6	169	10 ～ 29
37	2016	10	23～ 24	フリーローラーコンベア上に払い出された紙ブロックを併設した運搬用パレットに移し替える作業において、2段目に積もうとブロックを持ち上げ、身体を反転させた際に腰部に強い痛みを感じ、その後両足に痺れを感じた。	56	19	611	50 ～ 99
38	2016	10	6～7	回転ロール周辺でインクの確認作業をしている際、版ロールに足を滑らせて、回転している版ロールに咄嗟に手をついてしまい、その時持っていた布と一緒に指を巻き込まれた。	31	7	163	50 ～ 99
			18～	乾燥工程4群操作側通路で故紙巻切断作業中、故紙巻の方向転換をしていたときに、巻径が小さいので、しゃがんだ状態で重心				30

39	2016	10	19	から外れた所を持ち、180kgの巻を一人で動かそうとして、ぎっくり腰になった。	29	19	921	～ 49
40	2016	10	19～ 20	業務終了後、帰途のため、構内トラックヤードの緑色の歩行帯を歩行中、付近に停車中の車の方をわき見しながら歩いていたところ、歩行帯を左側にそれてしまい、高低差約1.3mのプラットホームから、柵と柵のすき間を通過して誤って転落した。	50	1	417	100 ～ 299
41	2016	10	11～ 12	作業中、シャフトを固定しホイストを外したことを確認せずリモコンを左へ移動させたら、上手く下へ外れておらず、シャフトを固定したまま引っ張った状態になり、ホイストに添えていた左手の中指がホイストとシャフトに挟まれてしまい、先端部分を欠損した。	29	7	211	30 ～ 49
42	2016	9	15～ 16	工場1階において、断裁機からリフト方向に歩いていた時、後方から別の従業員に声をかけられ、歩きながら振り向いた際、置いていた台車の角に引っ掛かって倒れ、左膝を負傷した。	55	2	417	100 ～ 299
43	2016	9	13～ 14	ストレートグルアー機においてベルトに付着していたゴミを取ろうとしていて、誤ってウエスが機械ベルトとプーリーに巻き込まれ、同時に右人差し指も巻き込まれた。	30	7	169	30 ～ 49
44	2016	9	8～9	トイレットペーパーをリワインダーで小巻ロールに巻き返し中、紙切れが発生したので紙をつなぐために原紙ロールの前に行こうと損紙の山を飛び越えて着地した時、鉄芯ロールの上に左足が乗ってしまい、左足を捻挫した状態で体勢を崩して、左足骨折等の負傷をした。	31	2	163	30 ～ 49
45	2016	9	11～ 12	パルパーに損紙を入れ終わり、場所を離れる時に一段目左足、二段目右足の順が右足を踏み外し、2Fより下に落ちた瞬間、頭を抱えるように両手が下になり、手首等を負傷した。	42	1	417	1～ 9
46	2016	8	21～	マシンプレスパートで、紙切れ後の設備に付着した掃除実施時に、3Pガイドロール上に乗り作業したところ、被災者は共同作	44	7	163	100 ～



			22	業者に知らせず単独で当該箇所に進入した。その後、機械を運転した際、ロールと用具に挟まれ被災した。				299
47	2016	7	21～ 22	トリムパッキングマシン傾斜コンベヤでコンベヤ上のトリム流れを確認中、駆動チェーンにトリムが巻き付いているの確認。コンベヤを停止せず、安全カバーの点検口を開け右手でトリムを除去しようとした際、駆動チェーンとスプロケット間に巻き込まれ被災。	39	7	224	50 ～ 99
48	2016	6	15～ 16	抄紙機フェルト交換中、作業が終わり止めてあったリフトを足場がわりに降りようとして、リフトの操作レバーを足で踏んでしまい、リフトのアームが動き、リフトフレームとリフト運転席の屋根ワクの間にはさまれ被災した。	33	7	222	10 ～ 29
49	2016	5	15～ 16	被災者はカッターレーボーイ内のベール排出を行い、飛散したシートを片付け中にトランスファーベルトの片寄りを発見した。パレットリフターを上昇させその上でベルト片寄りの修正を始めようとした時、制御室で異常を確認した共同作業者がかけつけ二人でベルト片寄り修正の為、復旧作業を開始した。共同作業者が、ベルトを手回しし、被災者が片寄り修正の為ベルトを横に引っ張っていた際にバランスを崩し、ピットまで1.1m下に転落し負傷した。	55	1	219	100 ～ 299
50	2016	5	17～ 18	コーヒーフィルター成型ラインで、正面左側に位置する「シールロール」出口で紙づまりが発生。寸動ボタンを右手で一瞬押しを繰り返しながら、「シールロール」出口の紙を左手でつまんで右側に引っ張って、紙づまりを解消しようと試みた。その際、咄嗟に勢いで左手が正面右側に位置する「ダイカットロール」の喰い込み部分に入ってしまう、指を負傷した。	58	7	163	100 ～ 299
51	2016	4	7～8	始業前に工場の敷地内の駐車場に駐車し、駐車場内を作業場へ向かって小走りで移動中、アスファルト敷の何も無い箇所ですまずいて転倒。転倒の際、受け身で突いた左手首を骨折した。	55	2	418	10 ～ 29

52	2016	4	16～ 17	工場内において、作業が終了したので合紙機を清掃していた。 ウエスで汚れを拭き取る際に、ロールの回転が止まっていると勘違いしたために、ロールにウエスが巻き込まれ、同時に右手も巻き込まれてしまい、右手薬指を裂傷した。	38	7	163	1～ 9
53	2016	4	22～ 23	抄紙機奥に設置してある粘剤タンクを清掃中、足を滑らせ床に転倒、右手首を骨折した。	40	2	416	50 ～ 99
54	2016	3	11～ 12	勤務先工場内にてレコード工程スリッター機で包装作業を行っていた。製品が入っているダンボールを搬送レールに載せた際、その反動で身体が少し前かがみになり、その時に腰に電気が走るような痛みが発生した。	33	19	611	30 ～ 49
55	2016	3	9～ 10	防災加工の機械を作動するために紙を通す作業を行った所、あやまって薬注するゴムロールの間に指をつっこんだ。そのため左手中指、環指を負傷した。	73	7	163	1～ 9
56	2016	2	13～ 14	仕上場の裁断機近くでベルトの上から流れてくる製品の中にテープひもが括りつけられていなかった為、その製品を走って取りに行く途中、ベルトコンベア角に左足首の内側をぶつけた。	50	3	921	30 ～ 49
57	2016	2	14～ 15	工場内で、ワインダーで紙管の上側に両面テープを貼っているときに、紙管とチャックがかみ合っていないことに気付かずに、紙管に両面テープを付けた瞬間にチャックが紙管とかみ合い、紙管とチャックの間に左手中指と薬指が挟まれ負傷した。	34	7	163	1～ 9
58	2016	1	14～ 15	工場の敷地内で、製品原紙をコンテナに積み込み中、被災者が製品の本数を気にしすぎて足元の確認が疎かになり、コンテナの製品原紙1段目から地面に落下した。	29	1	221	10 ～ 29
59	2016	1	9～ 10	工場スリッター作業場で清掃作業をしているときに、紙管をダンボールケースに入れて作業場の外へ移動させていた。狭く入り組んだ場所を通行しようとした際、バランスを崩し、近くに	44	1	417	10 ～

				あったSPピットへ落下。				29
60	2016	1	21～ 22	古紙を溶解した時に排出される古紙粕がコンベアーよりこぼれていたため、原因を調べていた被災者は、コンベアーカバーのヘッド部に取り付けられていた点検口を開けて確認しようとした。しかし、堆積した古紙粕で確認できなかった為、コンベアーが運転されているにも関わらず粕を取り除こうとして、手首を挟まれて被災した。	23	7	224	100 ～ 299
61	2016	1	14～ 15	ロール引き抜き中、被災者は、駆動側にて次の作業の段取りのため、ロールが抜けきる前に被災場所へ入った。その後段取りを終え、開放されたプレスピット箇所に正座する形でその場に待機した。操作側作業員Aは、同様の段取りをするため、安全バー箇所から入れないか操作者Bへ確認したところ、操作者Bはプレスピット内への転落の危険性を考え、目視で周辺を確認後、声掛けをすることなくブロックシュート閉SWを押した。その直後、駆動側で悲鳴が聞こえ、ブロックシュート開SWを押した。被災者は、腰のあたりを閉まってくるブロックシュートに挟まれ、被災した。	33	7	169	50 ～ 99
62	2015	12	14～ 15	工場において、高さ1.2mのポーチャー回流機のはねだし部に左足を掛け、右足を前部H鋼に掛けて、床から2.5mの塩ビ配管にインパクトレンチでビスを打ち作業を行っていた際、レンチが滑り、バランスをくずし床へ落下した為、負傷する。	36	1	418	10 ～ 29
63	2015	12	22～ 23	薬品投入作業のため、薬品の入ったバケツを持ち上げた。足元が狭く滑るため、少し前のバケツを上半身を倒し右手だけで持ち上げたので、腰に負担がかかり痛めた。	35	19	371	30 ～ 49
64	2015	12	15～ 16	工場において、ルーフィング原料（フレコン）を工場内で移動する為、フォークリフトに掛けるベルト部分が切れたので（フレコン）3段積みした上に昇り、切れたベルトを結んでいる時、	49	1	611	10 ～

				結び目がほどけて後ろに転倒し、約2m位の高さより落下し、あばら骨を骨折負傷する。				29
65	2015	12	13～ 14	工場内において、商品のトイレットペーパーを筒状のビニールに一定個数詰めたら袋の底になる部分を熱着する作業で、商品と袋の隙間をできるだけなくすため、シール機が熱着する直前にビニールの一端を手で引っ張り、手を放すが、そのタイミングを逸したため指先を挟まれ、右手人差指を負傷した。	59	7	169	10 ～ 29
66	2015	12	14～ 15	工場内において、工程上使用することがなくなった薬品を廃棄処分するため、保管容器から別容器へ手動ポンプを用いて移し替える作業を行っていた際、手動ポンプの柄部が破損し、その弾みで薬品が飛散し両目に入り、負傷した。	43	4	514	30 ～ 49
67	2015	11	14～ 15	トイレットペーパーの製造工程においてコンベア駆動チェーンに紙屑が付いていたので取り除こうとしたところ、チェーンとギアの間に左手人差し指と中指が巻き込まれ負傷した。	37	7	224	100 ～ 299
68	2015	11	4～5	製品切替で原料変更の為、AストッカーNo.2内の風綿除去をし、Aストッカーから脚立に乗り移ろうとした。その際に脚立が動き、体のバランスを崩して床に落下した。	50	1	371	100 ～ 299
69	2015	11	15～ 16	製品積込場において、3.5tクランプリフトにて製品の積み込み作業で、製品を徐行で運搬中、トラックの運転手に意識がいったため右前方の柱に気がつかず、製品を柱の根巻き部分に衝突させた際に被災した。	38	3	222	100 ～ 299
70	2015	11	19～ 20	ロールに付着した原料カスを清掃しようとした際に、軍手を着用せずに右手に軍手を持ったまま行ってしまった。その際、軍手が巻き込みそうになってしまい、慌てて軍手を取ろうとした時に毛布とロールに手が挟まれてしまった。	60	7	163	100 ～ 299
			13～	湿紙詰まり除去掃除作業後、通紙作業開始した。被災者はドライヤーフード入口通紙を開けずに通紙作業を行ったため、キャリアシブへ湿紙が溜まってしまった。被災者は咄嗟にキャリ				100

71	2015	11	14	アシーブに絡み溜まった湿紙を左手で掴み除去作業を行った。その際、湿紙がドライヤー側に引っ張られ、被災者の左手も一緒に引き込まれ、左腕がキャリアシーブに接触し負傷した。	52	7	163	～ 299
72	2015	10	11～ 12	スクリュープレス（脱水機）を修理していたが、使用していたハンマーを振り上げた際に腰に痛みがあった。	47	19	364	100 ～ 299
73	2015	10	8～9	仕上げ作業場において、始業後かかりのカッター作業の準備中、仕切り台を移動しようとしたところ、持ちそこない後方へ倒れそうになったが、物が置いてあることが、わかっていた為、左方へ体をかわそうとしたところ右足をひねり骨折した。	39	19	921	30 ～ 49
74	2015	10	9～ 10	排水棟汚泥分離槽にて、水中ポンプを外して点検する為に、工具を集めてレーキへ運んでいた。本来はレーキに対して、進行方向に対して反対側からレーキに向かわなければならないところ、排水棟入口を入れてすぐ右側にあった為、進行方向に進み、工具をレーキのステージに乗っていた。その際、右足がレーキのタイヤに挟まれ、負傷した。	28	7	169	100 ～ 299
75	2015	9	10～ 11	結束機のリフターを修理中、テーブルリフターの固定が甘く傾いてきて身体にあたり身がよじれ骨折する。	39	5	391	—
76	2015	9	8～9	損紙巻取断裁機場で刃の交換作業中に2人で刃装着ジグを使いセット中に体勢が悪かったのでジグを持ち直そうとして刃が落下し落下途上で左手を出してしまった。	63	4	521	50 ～ 99
77	2015	9	16～ 17	抄紙工程、原紙ロール包装現場において原紙を運ぶ台車を空の状態で移動させている際留置していた原紙ロール（直径1m、長さ1.5m）と接触し、台車を押していた左手中指を挟んでしまい、指先を受傷した。	44	7	362	30 ～ 49
			10～	新聞巻取紙の船積み作業中、被災者は船内の製品積み状況を確認するため立入り禁止となっているクレーン昇降階段を上り高				50



86	2015	6	23～ 24	ベールクランプリフトより降りる際、レール破損箇所に右足を着地し、受傷した。	41	19	416	100 ～ 299
87	2015	6	8～9	巻損紙置場で、巻損紙を移動する際、巻取りが斜めに落下し横で補助していた為、巻取りに激突してしまった。	63	5	611	30 ～ 49
88	2015	6	13～ 14	工場内において、ステッチャーにてホチキス状の針金によるダンボールの接合作業中、ダンボールを胸の高さの所定の位置に置き手でおさえてペダルを踏んで接合する時左手の人差し指先に針金が貫通して傷を負った。	49	7	169	10 ～ 29
89	2015	6	11～ 12	被災者は一人で抄紙原料タンクを掃除するために、タンク上部足場に登り、ホースによる水洗を開始しようとしたが、タンク付近から異臭を感じたため、急いでタンクを離れ梯子を降りようとしたところ意識が遠のき、上から二段目（高さ2.4m）付近より落下した。	49	1	371	100 ～ 299
90	2015	6	13～ 14	リフトを使いクラフトケース受入作業終了しリフトから下車の際右足を地面についた瞬間、右アキレス腱付近からブチンと音が聞こえ急に力が入らなくなった。	44	19	222	50 ～ 99
91	2015	5	10～ 11	ベルトコンベア周辺で清掃作業中、工程の途中でコンベアが停止したため、コンベアに足をかけて作業を開始した。まもなく工程が復帰してコンベアが稼動し始め、左足をコンベアと支柱で挟み被災した。	62	7	224	30 ～ 49
92	2015	5	22～ 23	抄紙マシンのワク替えの時、ジャンボロール（紙）のシャフトを抜く際に、止め具をスペンナーの間に手袋ごと挟まれ、指を負傷した。	23	7	163	100 ～ 299
93	2015	5	6～7	紙を巻くワインダーという機械をオペレーター中に巻きとり中の紙と機械のローラーの間に、左手をはさまれた。	32	7	163	30 ～ 49

94	2015	5	14～ 15	リクレーション大会のグループ別大縄跳び練習中に縄からの出入りの最中に他のものの足に絡み転倒し、左足を負傷した。	45	3	719	10 ～ 29
95	2015	4	18～ 19	パルパーに原料の故紙を入れるため、故紙束（役800kg）の帯鉄を切ったところ、故紙束が手前へ崩れ落ちて来て、パルパーとの間に右下腿を挟まれ負傷する。	54	5	611	10 ～ 29
96	2015	4	22～ 23	重機のグリスアップをし、終了後に詰所に戻ろうとしたが、一番近い通路が古紙で塞がっていた為、他の通路を通らずAP水平コンベアを渡って詰所に帰ろうと約1.4m土間から低いAP水平コンベアに飛び降りた時に、右足首靭帯を損傷した。	32	3	417	30 ～ 49
97	2015	4	21～ 22	ロールに巻き取った紙を指定された幅、長さにカットし、コンベアカンバス上に紙を流して積取っていくカッターと呼ばれる装置で、カッター上の渡り足場に腹ばいになった状態でコンベアカンバス上に流れる紙のばらつき走行性を整える押えベルトのシフター位置を調整しようとしたところ、誤ってコンベアカンバスとロールの間に左前腕を喰い込まれ、被災した。	38	7	224	100 ～ 299
98	2015	4	10～ 11	被災者がフォークリフトの傍らで、リフト運転手から仕事の指示を受けたところ、被災者がリフトから離れる前に、運転手がリフトを動かしてしまい、被災者の右足甲部分をリフト前方左側のタイヤで踏みつけてしまった。	38	7	222	1～ 9
99	2015	4	17～ 18	異物除去装置であるメタルトラップの下部弁からの白液漏洩が発生した為、白液回収用として水中ポンプを排水溝に仮設していた被災者はパトロール時に水中ポンプが不揚がりとなっているのを確認し、水中ポンプ不揚がり解消作業を行っていた。作業中にホースが外れた事で水中ポンプより白液排水が吹き上がり被災した。	27	12	169	—
				オフセット輪転機で連続給水装置の洗浄作業を行った後にめま				50



100	2015	4	8~9	い等が生じて転倒し床に倒れた。	42	2	999	~ 99
-----	------	---	-----	-----------------	----	---	-----	---------

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。